



HAGIWARA

# 創造と挑戦

先進エレクトロニクスの  
ワンストップソリューション・グローバルサプライヤー

2021年3月期第2四半期

萩原電気ホールディングス株式会社

(東証・名証一部 7467)

2020年12月7日

決算のポイント

2021年3月期第2四半期決算概要

2021年3月期業績予想

2018年度中期経営計画進捗状況

# 決算のポイント

2021年3月期第2四半期決算概要

2021年3月期業績予想

2018年度中期経営計画進捗状況

## 決算のポイント

---

新型コロナウイルス感染症の影響により減収減益

2021年3月期業績予想は最近の動向を踏まえ上方修正

決算のポイント

## 2021年3月期第2四半期決算概要

2021年3月期業績予想

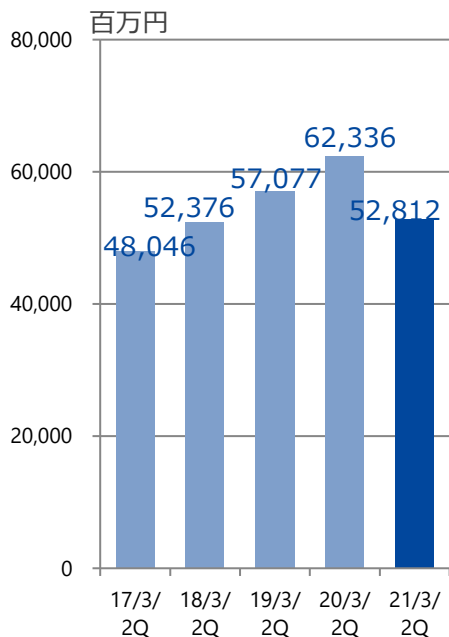
2018年度中期経営計画進捗状況

# 2021年3月期第2四半期決算概要

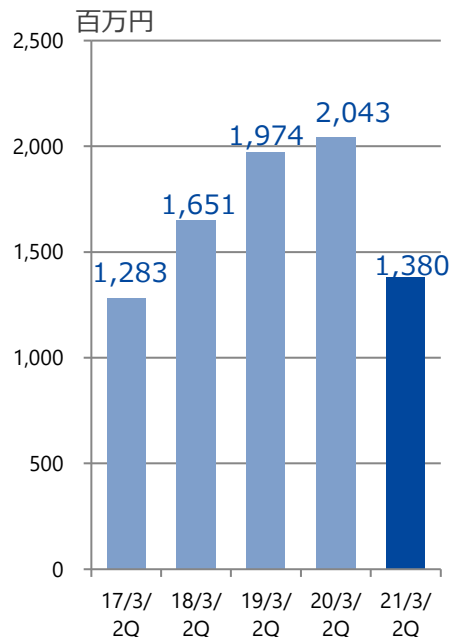
百万円

	2020年3月期2Q		2021年3月期2Q		前期比		1Q時予想比	
	金額	構成比	金額	構成比				
売上高	62,336	100%	52,812	100%	▲9,524	▲15.3%	+812	+1.6%
営業利益	2,043	3.3%	1,380	2.6%	▲662	▲32.4%	+380	+38.0%
経常利益	2,001	3.2%	1,373	2.6%	▲628	▲31.4%	+423	+44.6%
四半期純利益※	1,307	2.1%	876	1.7%	▲430	▲32.9%	+276	+46.1%

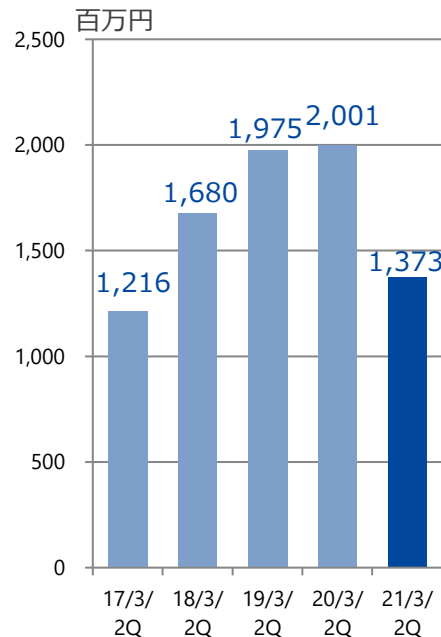
売上高



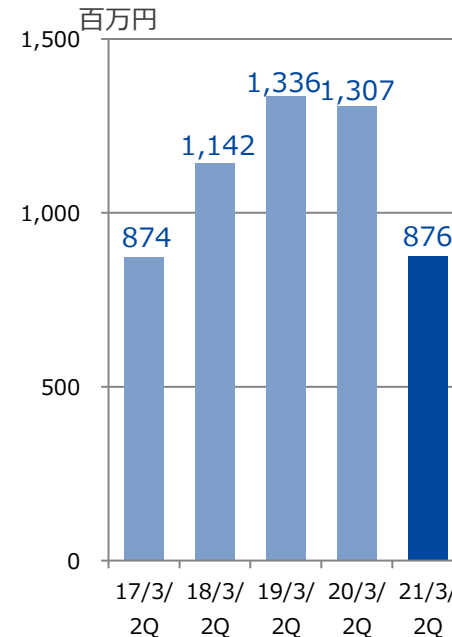
営業利益



経常利益



四半期純利益※



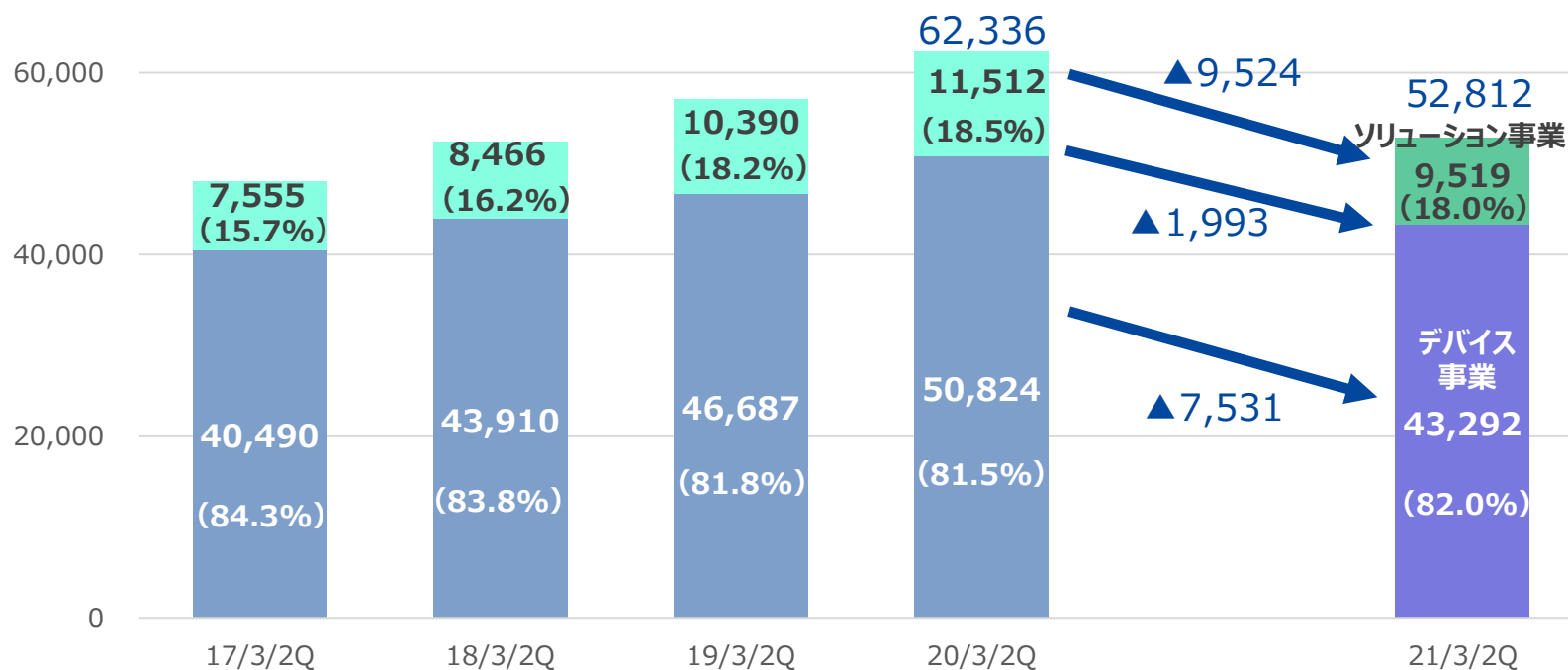
※親会社株主に帰属する四半期純利益

# 売上高の状況

## デバイス事業、ソリューション事業とも大きく減少

### セグメント別売上高推移

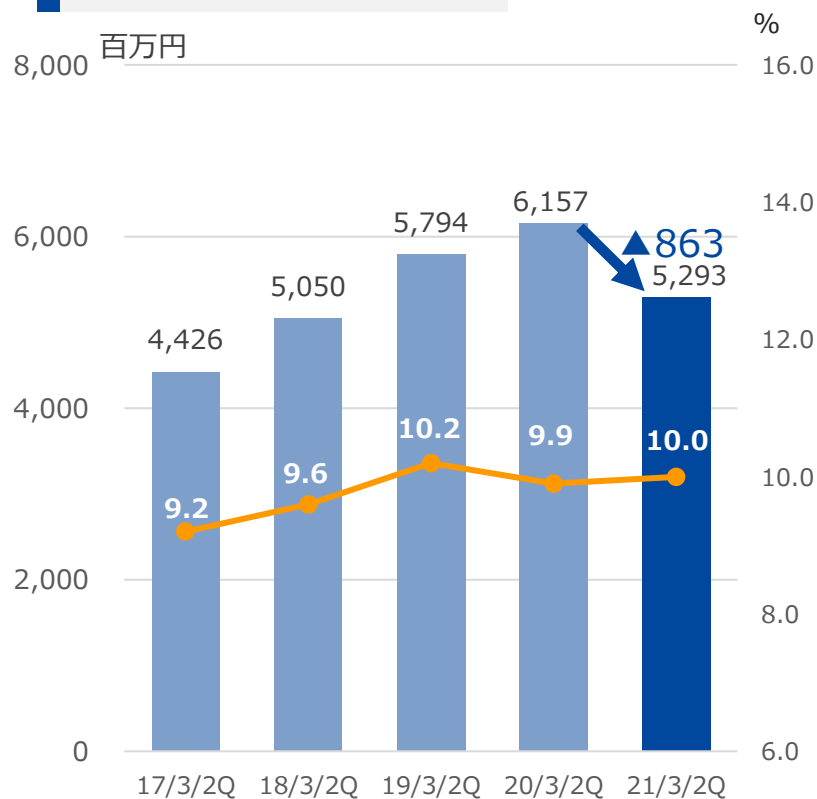
80,000 百万円



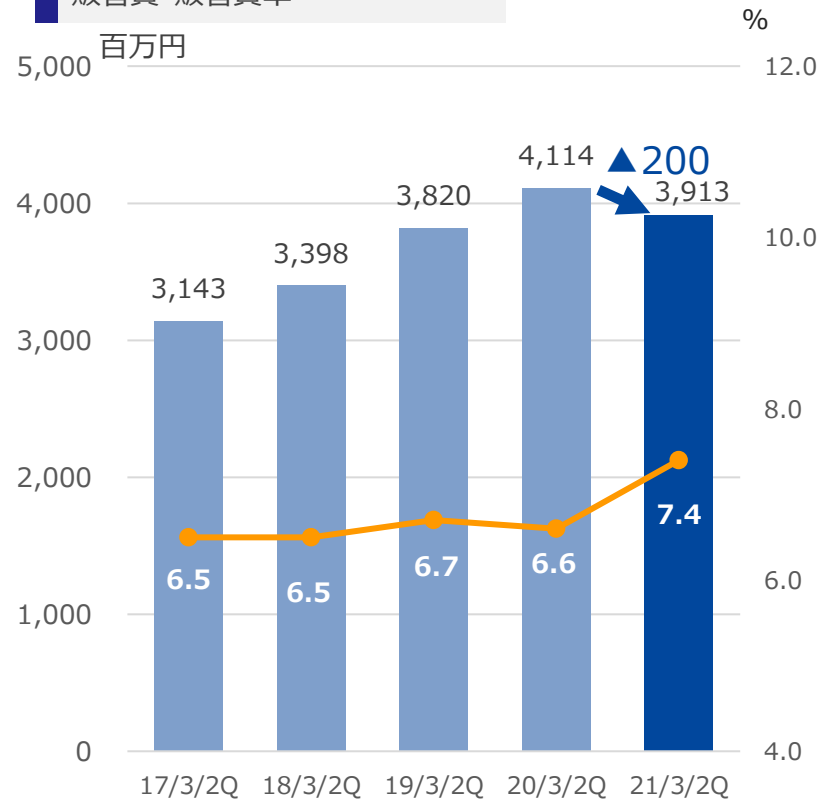
# 利益の状況

売上総利益の減少が、販管費の減少を上回る

売上総利益・売上総利益率



販管費・販管費率





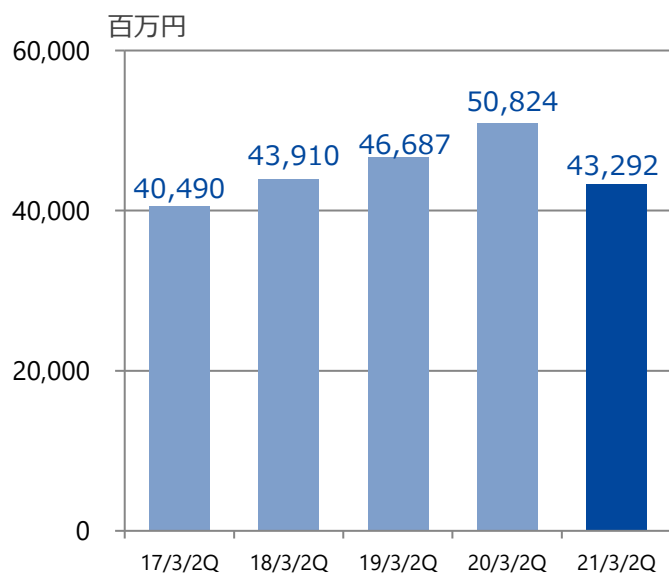
# デバイス事業 業績概要

## 新型コロナウイルスの影響により減収減益

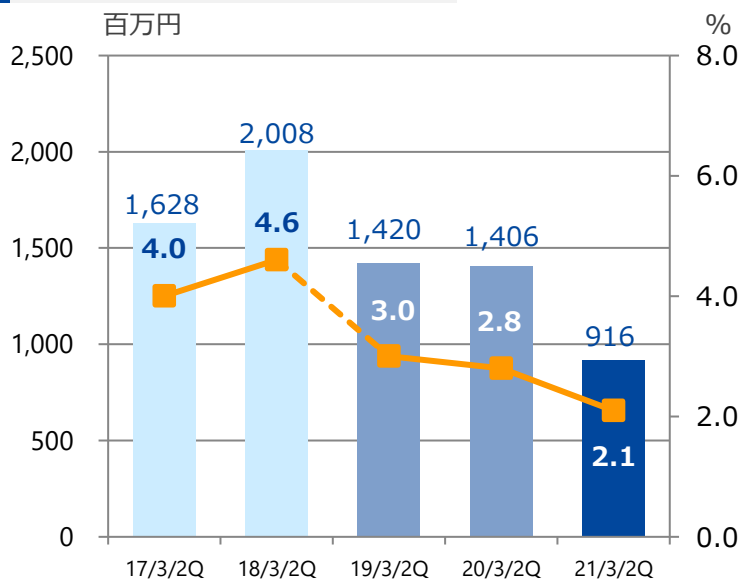
百万円

	2020年3月期第2四半期		2021年3月期第2四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	50,824	100.0%	43,292	100.0%	▲7,531	▲14.8%
セグメント利益	1,406	2.8%	916	2.1%	▲489	▲34.8%

### 売上高



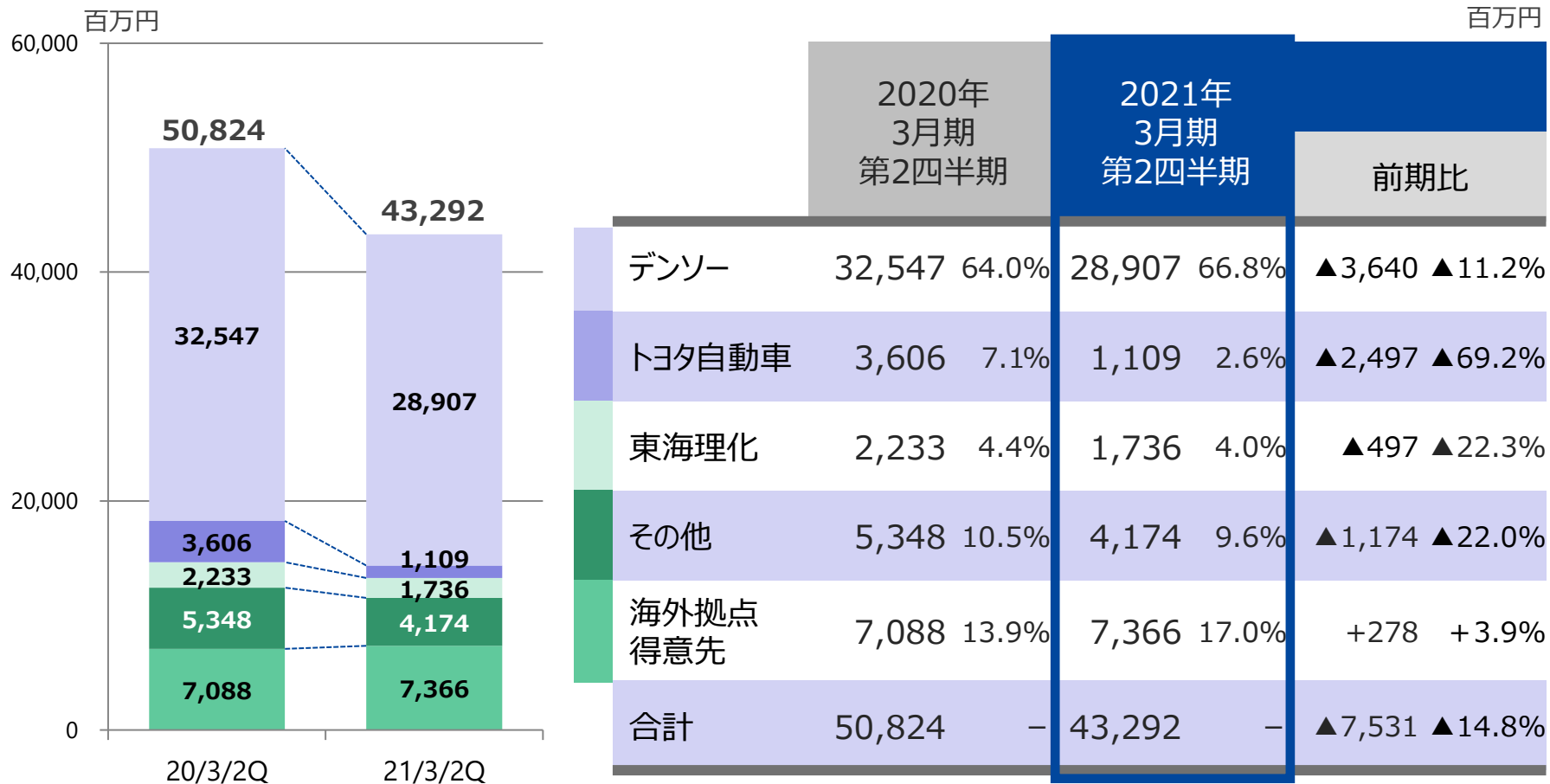
### セグメント利益・セグメント利益率



※2019年3月期よりセグメント利益の算定方法を変更

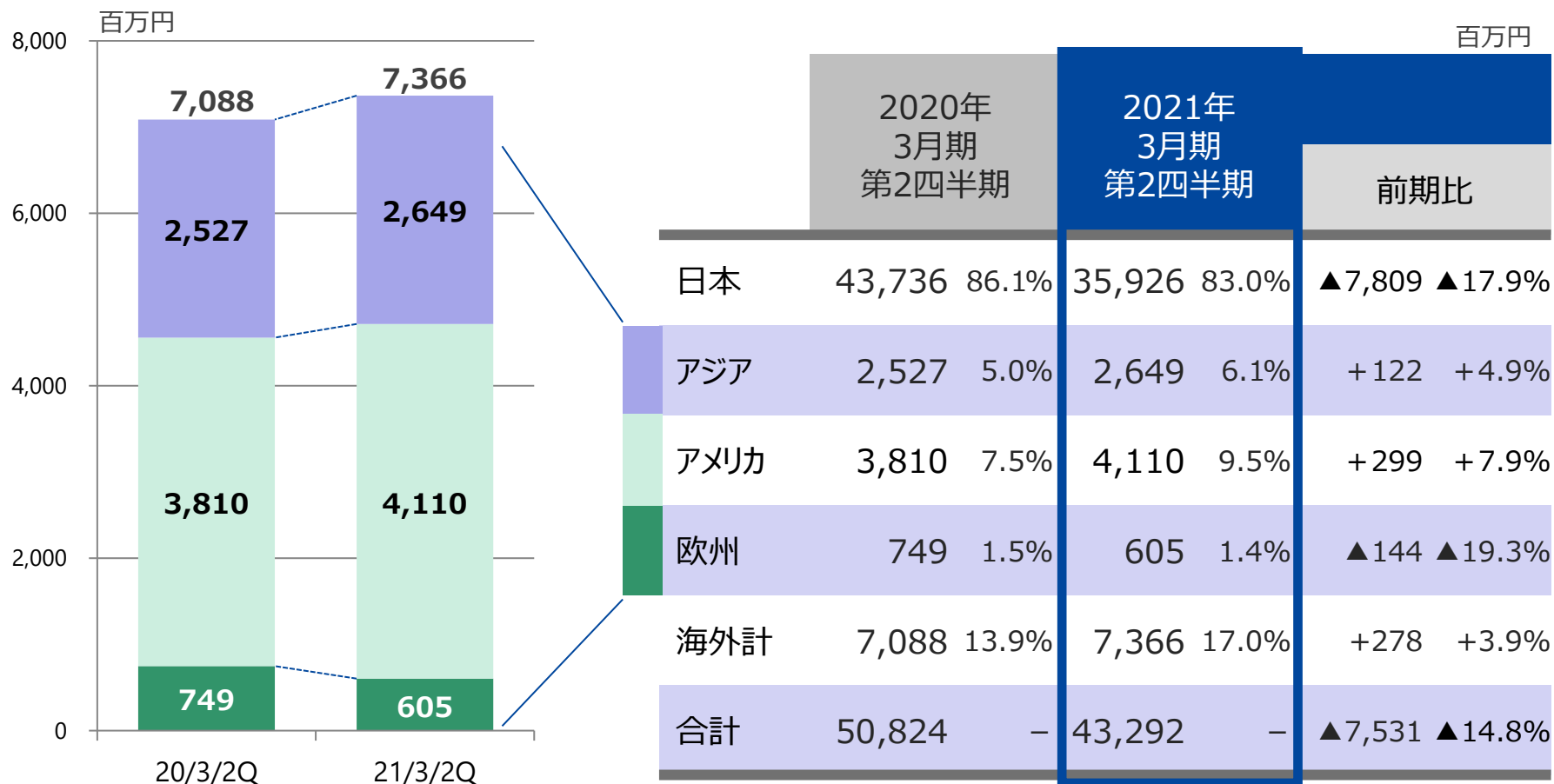
# デバイス事業 得意先別売上高前期比較

- ・新型コロナウイルスの影響により主要得意先の売上が減少
- ・トヨタ自動車は、広瀬工場の事業移管により大きく減少



# デバイス事業 海外地域別売上高前期比較

・アジアは中国が牽引し、増加



※地域名は拠点の所在地域（グループ内取引は除く）

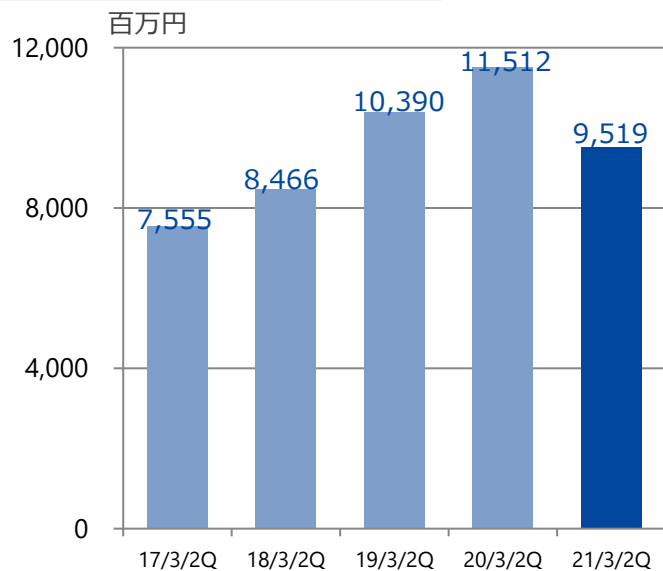
# ソリューション事業 業績概要

## 新型コロナウイルスの影響により減収減益

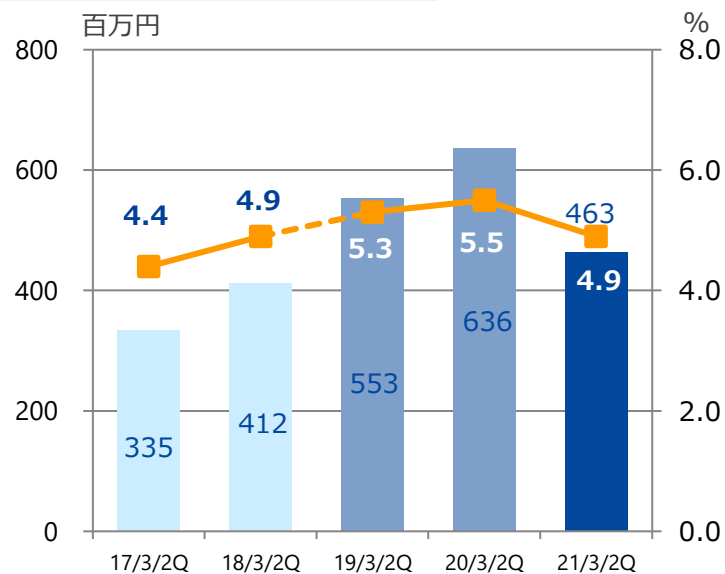
百万円

	2020年3月期第2四半期		2021年3月期第2四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	11,512	100.0%	9,519	100.0%	▲1,993	▲17.3%
セグメント利益	636	5.5%	463	4.9%	▲173	▲27.2%

### 売上高



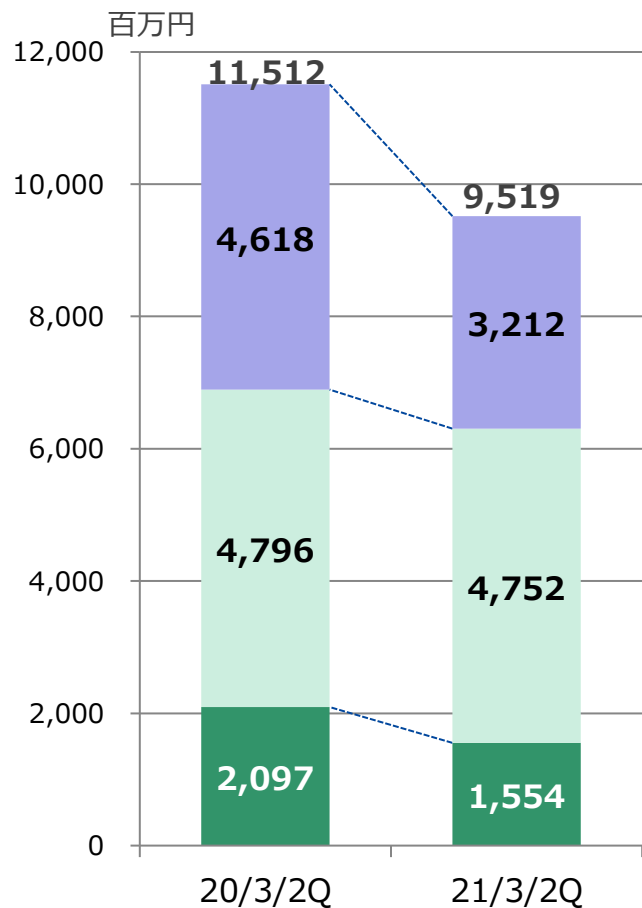
### セグメント利益・セグメント利益率



※2019年3月期よりセグメント利益の算定方法を変更

# ソリューション事業 事業別売上高前期比較

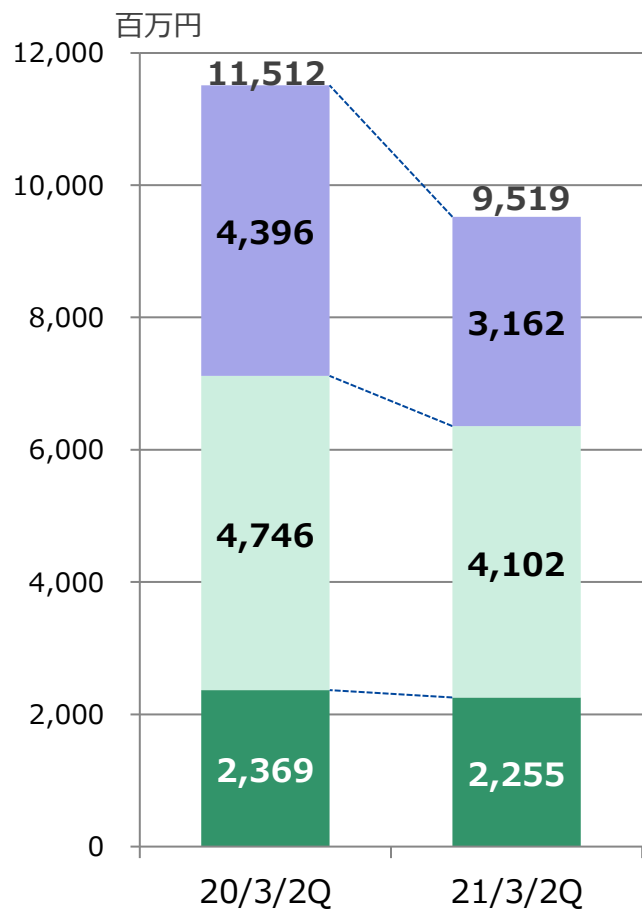
組込はほぼ前期並みだが、IT、計測が大きく減少



	2020年 3月期 第2四半期	2021年 3月期 第2四半期	前期比
IT	4,618 40.1%	3,212 33.7%	▲1,405 ▲30.4%
組込	4,796 41.7%	4,752 49.9%	▲44 ▲0.9%
計測	2,097 18.2%	1,554 16.3%	▲543 ▲25.9%
合計	11,512 -	9,519 -	▲1,993 ▲17.3%

# ソリューション事業 業種別売上高前期比較

各業種で売上が減少



	2020年 3月期 第2四半期	2021年 3月期 第2四半期	前期比
自動車	4,396 38.2%	3,162 33.2%	▲1,234 ▲28.1%
FA・ 産業機器	4,746 41.2%	4,102 43.1%	▲644 ▲13.6%
その他	2,369 20.6%	2,255 23.7%	▲114 ▲4.8%
<b>合計</b>	<b>11,512 -</b>	<b>9,519 -</b>	<b>▲1,993 ▲17.3%</b>

決算のポイント

2020年3月期第2四半期決算概要

2021年3月期業績予想

2018年度中期経営計画進捗状況

# 2021年3月期業績予想

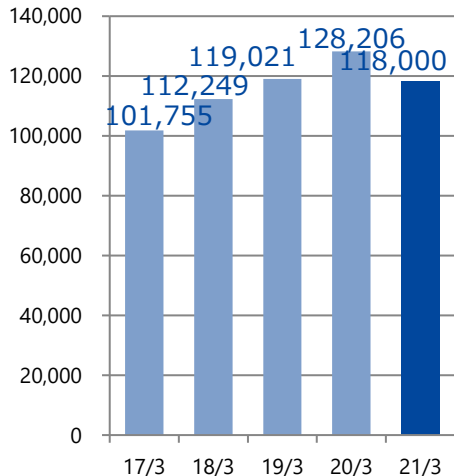
最近の業績動向を踏まえ、8月7日に公表した予想を上方修正

百万円

	2020年3月期	2021年3月期			前期比	
	通期	上期	下期	通期		
売上高	128,206	52,812	65,187	118,000	▲10,206	▲8.0%
営業利益	4,173	1,380	1,669	3,050	▲1,123	▲26.9%
経常利益	4,093	1,373	1,626	3,000	▲1,093	▲26.7%
当期純利益※	2,716	876	1,023	1,900	▲816	▲30.1%

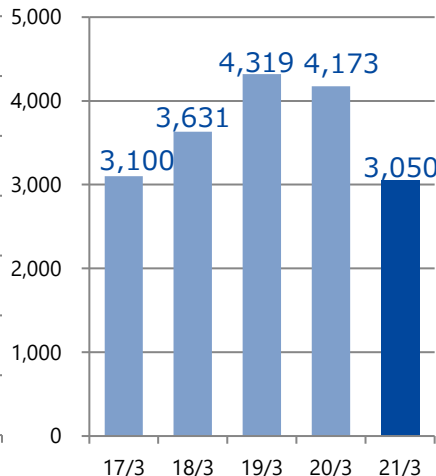
売上高

百万円



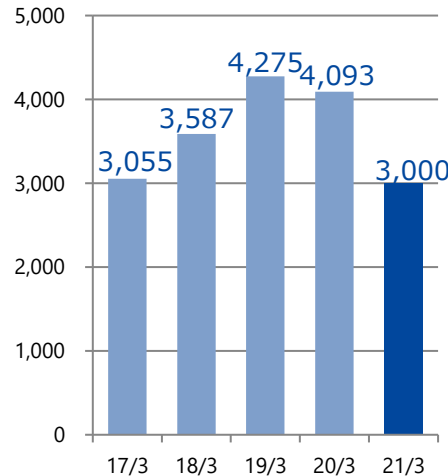
営業利益

百万円



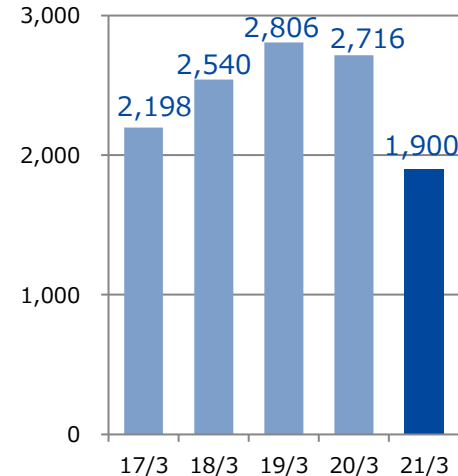
経常利益

百万円



当期純利益※

百万円



※親会社株主に帰属する当期純利益



# 株主還元

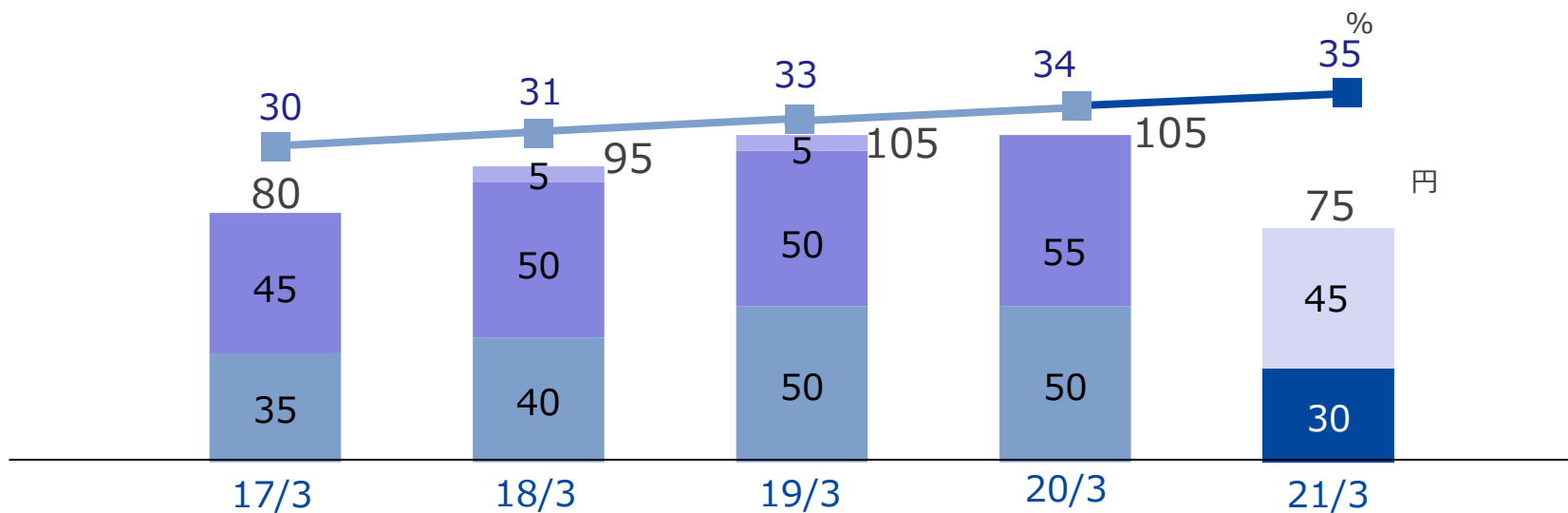
## 業績予想を踏まえ、8月7日公表の予想を修正

### 基本的な配当方針

連結配当性向30%を目途とし連結純資産配当率も勘案したうえで、安定配当をベースに業績に応じた利益配当を行う

1株あたり年間配当金額と配当性向

■ 中間期 ■ 期末 ■ 記念配当



決算のポイント

2021年3月期第2四半期決算概要

2021年3月期業績予想

2018年度中期経営計画進捗状況

# 2018年度中期経営計画

## 経営理念

### 創造と挑戦

創造と挑戦によって、全てのステークホルダーから選ばれる企業グループとなる

## 中期経営 ビジョン

先進エレクトロニクスのワンストップソリューション・グローバルサプライヤー

## 注力領域

### 萩原エレクトロニクス

CASE領域

### 萩原テクノソリューションズ

IoT領域

コア事業は自動車  
関連事業

萩原エレクトロニクスは集中戦略  
萩原テクノソリューションズはポートフォリオ戦略

## 中期経営方針

新規事業の拡大

ソフトウェア事業の拡大

海外事業の拡大

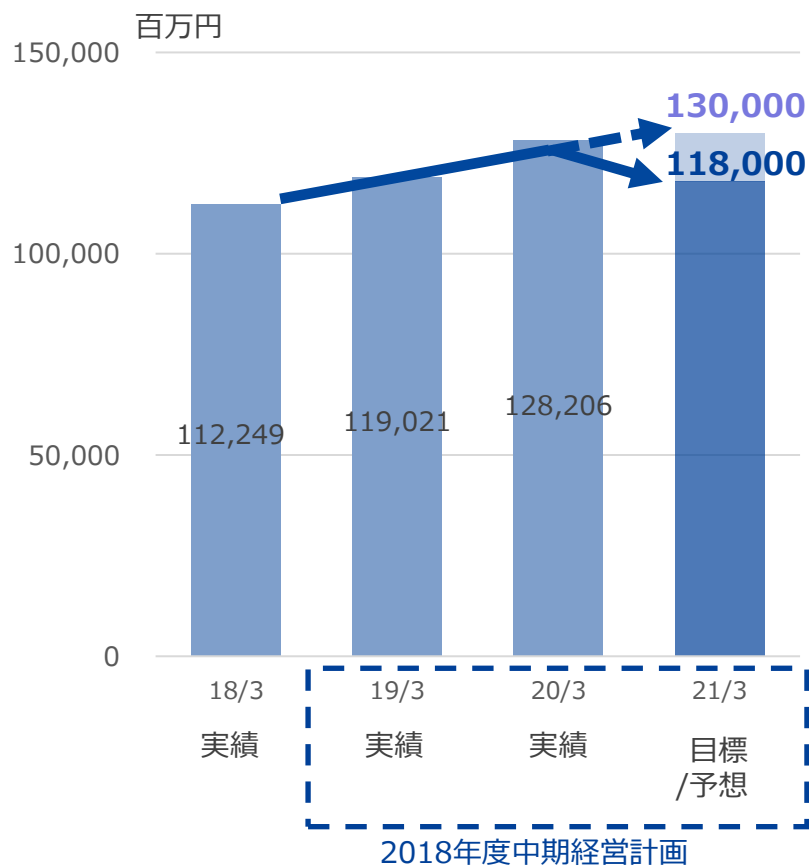
技術部門主導による事業会社間の  
リレーションシップ強化とシナジー創出

グループ経営基盤の強化による  
中長期的企業価値の向上

# 数値目標進捗状況

2018年度中期経営計画の最終年度目標値に向けて、堅調に進捗していたが、新型コロナウイルスの影響で、目標未達の予想

### 売上高



### 営業利益



# 中期経営計画の取り組み状況

## 新規事業の拡大

### 萩原エレクトロニクス

- ◆ 画像ビジネスでの建機分野への拡大推進
  - ・測距システム、サラウンドビューシステム、AIカメラ等、ソリューションを拡大
  - ・パートナーリンクによる販路の確立と拡大
- ◆ 自動運転システム開発向け、走行データ活用サービスの開始
  - ・自動運転システム開発における仮想環境での危険運転シミュレーションに向け、走行データの収集・蓄積と危険シーンのシナリオ作成・提供

### 萩原テクノソリューションズ

- ◆ ERPソリューション拡大中
  - ・新たな領域であるERP領域にて基幹システム構築を受注
  - ・本システムの横展開として現在、2社に提案中
- ◆ パートナーコラボ継続進行中
  - ・パートナーの要素技術 × 自社の組込ハードウェア開発力によるオリジナル製品の創出などパートナーとのビジネス共創による高付加価値ビジネスに注力
  - ・計測分野におけるメカトロニクス全般への領域拡大に向け、搬送系装置を中心とした特殊装置の専門パートナーの拡充による内製ビジネスの強化を推進

# 中期経営計画の取り組み状況

## ソフトウェア事業の拡大

### 自社の特徴を活かしたビジネスへの集中・拡大

#### ◆ AUTOSAR関連受託拡大中

- ・AUTOSAR Classic PlatformのMCAL/BSW検証業務は着実に実績を積み上げ中
- ・AUTOSAR Adaptive Platformの開発プロジェクトに参画、検証作業領域を中心に業務を拡大

#### ◆ PoC開発受託が拡大

- ・MaaS領域では要件定義からソフトウェア/ハードウェアまで開発
- ・運転支援領域でもTier1からのPoC開発を継続して受託
- ・2020年4月に立ち上げたPoC開発受託専門チームによる受託は想定上に拡大中

#### ◆ モデルベース開発受託が拡大

- ・先行開発、要素技術開発領域で使用される開発ツールと連携したエンジニアリングサービス展開
- ・モデルベース開発を活用した仮想評価環境を構築し、お客様の開発期間短縮に貢献

#### ◆ VehicleOSに対する取り組みを開始

- ・SoCを軸とした開発環境構築の支援活動中、受託への展開を狙う
- ・VehicleOSに関連したソフトウェアビジネスの探索開始

# 中期経営計画の取り組み状況

## 海外事業の拡大

### 中国にてソリューション事業会社営業開始

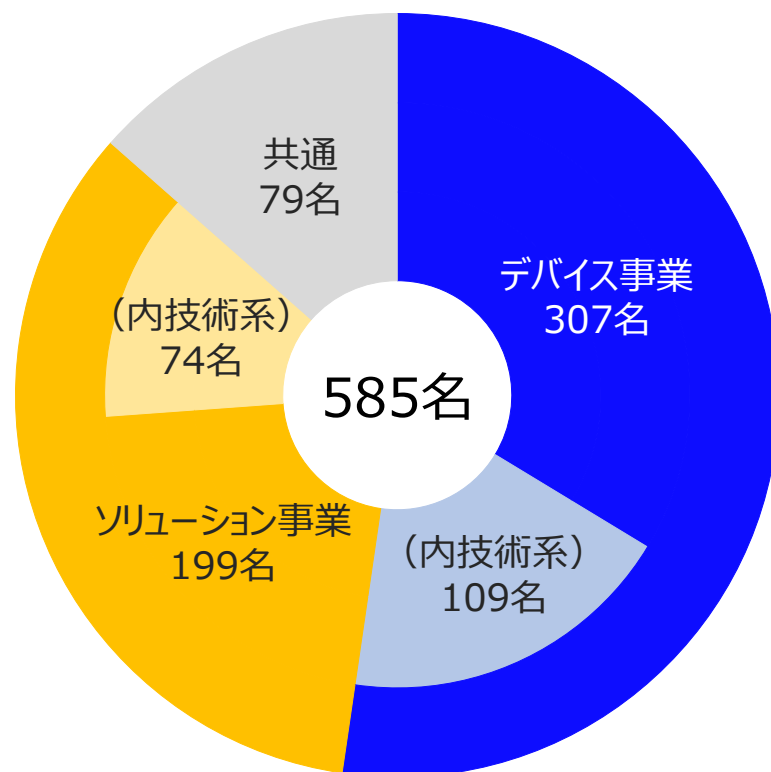
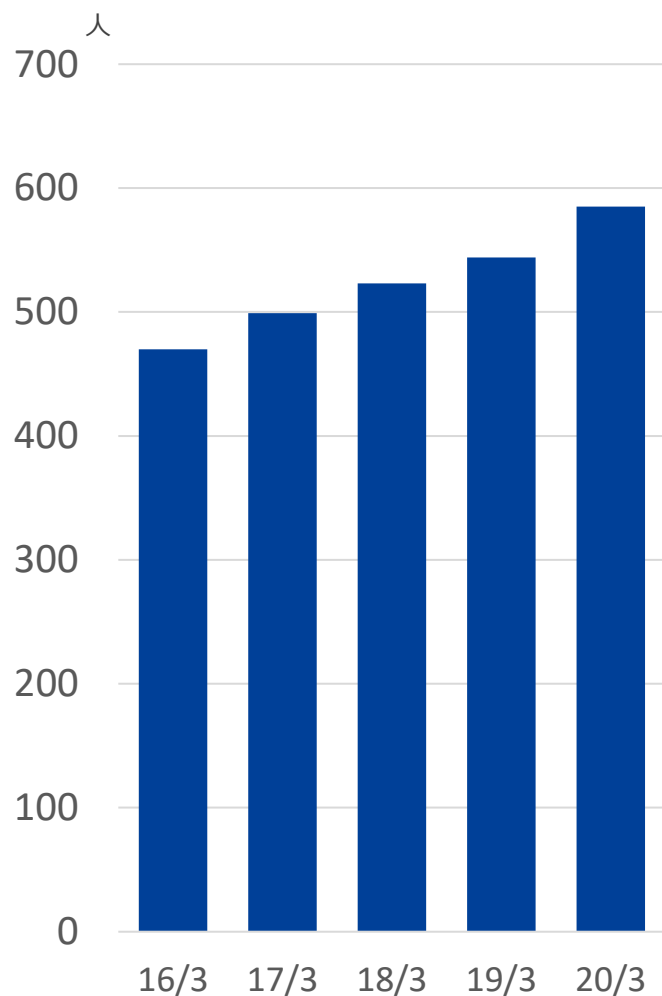
#### ◆萩原テクノソリューションズ株式会社傘下で中国事業会社を設立し、営業開始

- ・商号 : 萩原電子設備（上海）有限公司  
Hagiwara Techno Solutions (Shanghai) Co., Ltd
- ・所在地 : 中国 上海市
- ・資本金 : 1億円
- ・株主構成 : 萩原テクノソリューションズ株式会社 100%
- ・事業内容 : 中国の日系製造業市場におけるIT・ソリューション事業
- ・営業開始日 : 2020年9月1日

補足

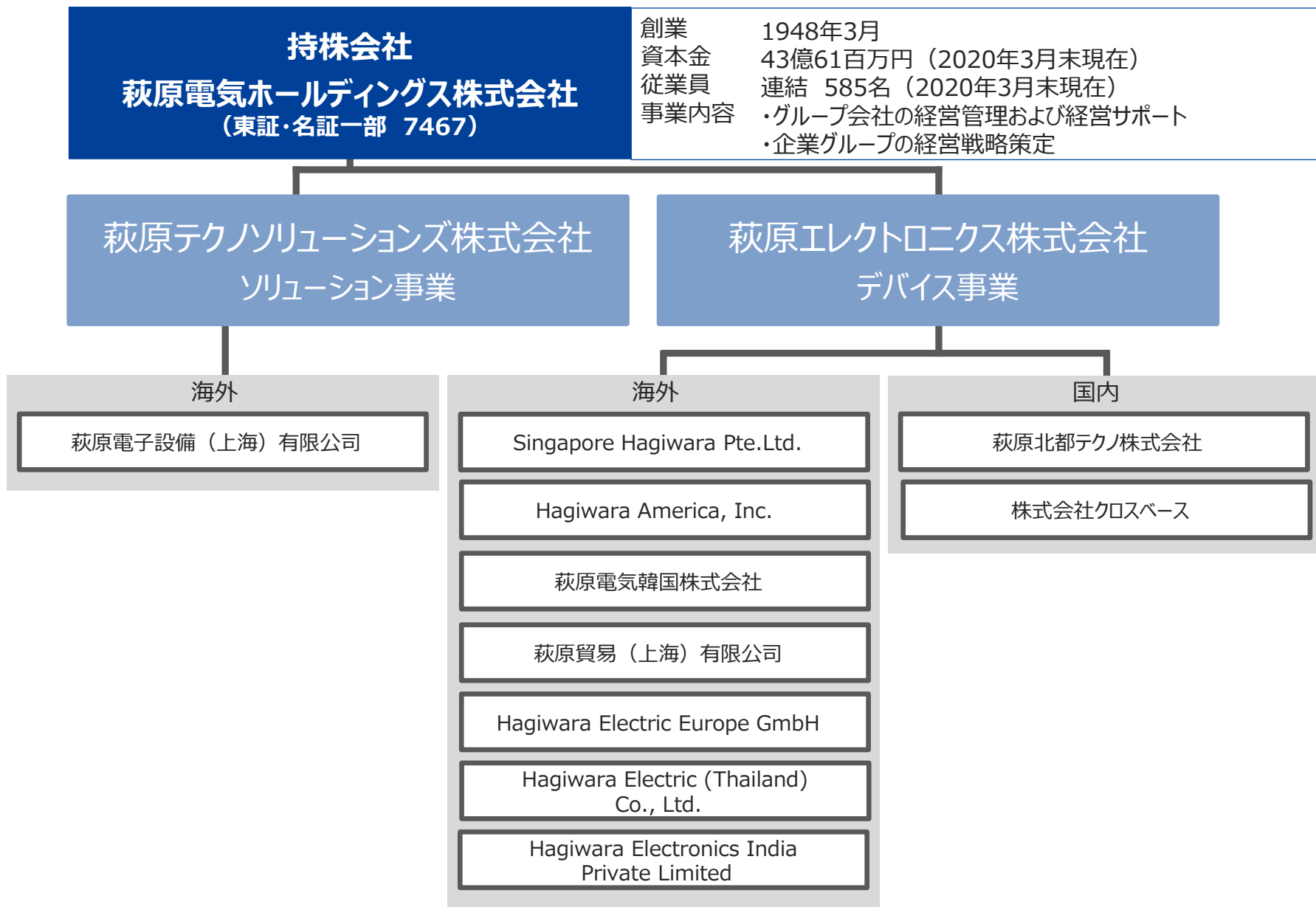


# 人員の構成



2020年3月末現在  
(臨時従業員は除く)

# 体制図 2020年9月現在



# 用語集

P.18	CASE	C : Connectivity (コネクテッド)、A : Autonomous (自動運転)、 S : Shared&Services (シェアリング)、E : Electric (電動化) 自動車業界を一変させると言われるトレンドの頭文字をとったもの
P.18	IoT	Internet of Things 様々なモノがインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み
P.20	サラウンドビューシステム	車を上空から見下ろしたような俯瞰映像を作りだし、車の周囲を分かりやすく映し出すシステム 駐車時の操作をアシストする
P.20	ERP	Enterprise Resource Planning 企業全体を経営資源 (ヒト・モノ・カネ・情報) の有効活用の観点から総合的に管理し、有効活用する考え方
P.21	AUTOSAR	Automotive Open System Architecture 欧州自動車メーカーを中心に、車載ソフトウェアの共通化を目指して設立された団体。 また、車載ソフトウェアの共通化を実現するためのプラットフォームの仕様の名称
P.21	MCAL	Microcontroller Abstraction Layer AUTOSARのソフトウェアに対応したデバイスドライバ。マイコン内蔵の周辺機能や、メモリにマッピングされた外部デバイスへ直接アクセスするソフトウェアモジュール
P.21	BSW	Basic Software 従来のOS、ドライバ、ミドルウェアに相当し、ハードウェアと車載ソフトウェアをつなぐAUTOSARの基盤ソフトウェア
P.21	PoC	Proof of Concept 概念実証。新しい概念や理論、原理、アイデアの実証を目的とした検証やデモンストレーション
P.21	MaaS	Mobility as a Service モノの移動を自動車を含むモビリティを利用して最適化して提供する「移動のサービス化」
P.21	VehicleOS	パソコンの基本ソフト (OS) に相当する自動車搭載用標準ソフトウェア
P.21	SoC	System-on-a-chip 1個の半導体チップ上にシステムの動作に必要な機能の多く、あるいはすべてを実装した集積回路



# 創造と挑戦

先進エレクトロニクスの  
ワンストップソリューション・グローバルサプライヤー

引き続きご支援ご鞭撻を  
よろしくお願い申し上げます

本資料のうち、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基き当社で判断したものであります。

予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。